

ひらめき箱(意見・要望等)対応状況

番号	7	開封日	平成27年6月1日
ご意見			
<p>上薩摩瀬にサルスベリを植えてあります。下薩摩瀬町には植えないでほしい</p> <p>大分大きくなって又消毒したりサルスベリはイラ虫が出来やすい木で大風などが来れば田のため枝がおれ自動車の見とおしも悪くいらん金ばかり使って作業也大へんです</p> <p>下薩摩瀬町には植えないでほしいです</p> <p>(開封日 平成27年6月1日)</p>			
回答			
<p>ご意見頂きましてありがとうございます。街路樹管理を担当しております都市計画課がお答えいたします。</p> <p>街路樹など道路緑化は、緑陰形成機能、景観向上機能、交通安全機能、生活環境保全機能、自然環境保全機能、防災対策機能があり、生活環境、都市環境に不可欠な道路の構成要素です。</p> <p>平成24年度から平成31年度の第5次人吉市総合計画の施策項目、「水と緑の環境整備」のなかで街路樹については、「外来種から在来種に転換し、安全・安心な歩道空間を創造するとともに、相良700年の歴史文化にふさわしい道路環境を目指します」と計画しています。</p> <p>サルスベリの選定の理由としましては、剪定・乾燥に強い、葉が小さく、茂らないので落葉が少ない、生長は幼木の時は早い成木の時は遅い、花の少ない夏の時期に花が咲き、夏中花が楽しめる等の長所があり、管理経費も安価となり、総合的に勘案しまして決定しております。</p> <p>ご指摘のとおり、短所としまして、イラガ類(イラ虫)の害虫やひこばえ(地中から出る芽)はありますが、一般的に樹木には害虫は発生しますので、注意して街路樹管理をしてまいります。</p> <p>地元町内会長との協議経緯としましては、平成24年11月から平成25年7月まで、相良町・上薩摩瀬町・下薩摩瀬町・温泉町と3回行いまして、サルスベリの街路樹で了解を頂いております。</p> <p>サルスベリの植栽間隔等ですが、今までのナンキンハゼは6~8m間隔で</p>			

植栽しておりましたが、10～12mの間隔で計画しており、さらに市道・里道・農道・国道・河川管理用道路の交差点から5m以上の間隔をとっておりますので、見通しはよいと考えます。また成木になると樹木の生長は遅く、樹高は6～7m程しかありませんので、田畑等への被害は少ないと思います。

以上の理由等によりまして、今回サルスベリの植栽を行ったところです。なお、今後温泉町までサルスベリの樹種で植栽していきたいと計画しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。